

「学習することの楽しさを感じ、自ら学ぶ子ども」の育成

1. 研究の概要

(1) 児童・生徒の実態と課題

梨香台小学校の児童の学力は、基礎基本の習得に課題があり、特に算数において顕著である。さらに全国学力学習状況調査の分析から、全国に比べて上位層が薄く下位層が厚い分布になっていることがわかる。

(2) 学力向上のための取組とその成果

本校の児童の実態から、以下の2点を目指して取り組んでいる。

- 学力向上対策は算数に重点をおく。
- 下位層を引き上げる。

① 理解が遅い児童への対応

- ・ 少人数指導教員を活用したTT・習熟度別授業
- ・ 学習サポーターを活用した放課後算数教室
(ちばっ子「学力向上」総合プラン)
- ・ 放課後キッズルーム算数講座

以上の取組により、児童の学習に対するあきらめない姿勢を育てている。



学習サポーターによる放課後算数教室



児童の学習に対するあきらめない姿勢を育てる

② 全校での継続的指導体制づくり・・・梨の子ぐんぐん算数プリント



保護者ボランティアによる丸つけ

今年度中に統一した算数のステップ学習教材を作成し、各自が自分のつまずいたところからいつでも復習できるような体制にすることを進めている。丸つけには保護者ボランティアを活用し、児童が意欲的に取り組む姿勢が見られるようになった。

③ わかりやすい授業づくり

今年度は授業研究の方法を変更した。まず、指導主事に本校で師範授業を行ってもらい全教員で授業づくりについて改めて学び直した。その上で全教員が研究授業を行って外部講師に直接指導してもらえるようにした。低・中・高学年の3グループに分け、教科は各自が課題設定して選び、年4回の授業研究会を実施した。今年度、個々の課題を踏まえた授業研で学んだことを生かし、次年度は算数の研究へとつなげていく。

(3) 加配教員の活用とその成果

学力向上担当の加配教員や学習サポーターを活用し、算数を中心とする授業のサポート体制を次のようにした。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1・2年・・・市スタッフによる学習・生活サポート | 4年・・・放課後キッズルーム算数講座の開催 |
| 3・4年・・・少人数指導教員による授業サポート | 5・6年・・・少人数指導教員による授業サポート |
| 1～3年・・・学習サポーターによる放課後算数教室 | |

これらの実践により、どの学年も個別指導が充実してきた。また、児童が自分にとって難しい問題にあった際に、あきらめずに解こうとする姿勢が見られるようになった。

2. 今後の課題

来年度、梨香台小学校は学級減に伴って増置教員が減少し、また、少人数加配の教員も減少する。その中で、安定した支援体制を構築することが課題である。